

令和5年度 第2回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議

日時：令和6年2月5日（月）

午後6時30分～午後8時30分

場所：幌延深地層研究センター国際交流施設

○ 参加者

幌延町まち・ひと・しごと創生会議委員：17名（3名欠席）

オブザーバー：7名

※委員・オブザーバー氏名については別紙参照

幌延町副町長 岩川 実樹

総務企画課（事務局）

受託事業者（一般財団法人北海道開発技術センター）

<議事概要>

1 開会

- ～ 事務局から配布資料の確認。
- ～ 議事録作成のため、音声記録を行う旨報告。
- ～ 議事進行は横尾委員長。

2 議事

（1）まちの拠点検討の参考となる他地域施設の視察について

- ～ 事務局から12月22日に実施した他地域施設の視察について報告。

<視察参加委員からの感想等>

- ・ 小平町「群来る」は理にかなっている施設で印象に残っている（委員）
- ・ どの施設もそれぞれの町の特徴があり、幌延も必要な機能を考える必要があると思った。（委員）
- ・ すべての機能を持った施設はお金がかかる。幌延町としての必要性を考える必要がある。（委員）
- ・ 風呂がある施設は遠別だけだった。遠別には温泉があるため、既存の温泉に影響を与えないという観点なのか、お風呂は小さいものだった。子供の遊び場はもう少し広げればと感じた。

小平町「群来る」は歯医者と診療所がメインで、全て包括した施設と言える。防災面では屋上に100人避難できる。

留萌は道の駅の補完施設という印象。遊びに来ている子供たちはいい笑顔で、能登半島地震などの報道を見ていても、災害時に子供のストレスを下げられるかもしれないという点は良いと思った。

苫前は公民館の建替えから、役場に隣接する形で設置した。議場も防災対策しているのが特徴。どの地域もそれぞれのお家事情で施設の機能を設けている。（委員長）

- ・ 幌延町の拠点施設は誰が管理運営することを想定しているのか。（オブザーバー）
 - 現状で管理運営について決まっていない。今後、様々な団体と話しながら検討したい。（事務局）
- ・ 商工会の建物も老朽化している。浜頓別では道の駅を、遠別では生涯学習センターをそれぞれ

商工会が管理運営している。そのような考えは町にあるか。(オブザーバー)

→ まだ実情として決まっていない。今後検討したい。(事務局)

- ・ 拠点の平面図を見るとコンビニを誘致するように見える。その場合、新たなコンビニを誘致するのか。既存のコンビニを移転する想定か。(オブザーバー)
 - 現時点では人が集まるスペースとしてコンビニをとの意見があったことから、賑わいにつながるイメージで記載した。現時点で、コンビニ各社との調整などは一切しておらず、具体的な話は決まっていない。(事務局)
- ・ 既存のコンビニのことも考え、検討が必要だと思う。町の業者が生き残れるように考えるべき。(オブザーバー)
 - 今後十分に検討したい。(事務局)

(2) 交流拠点整備場所等の検討について

～事務局から整備箇所検討資料等について説明。

<検討>

- ・ 役場と接続する想定はあるのか。(委員)
 - 役場と繋いだ方が防災機能の面でスムーズになると思い、案として検討した。(事務局)
- ・ あくまでも案ということか。(委員)
 - これを基にして、各種団体・皆さんの意見を踏まえ、素案を詰めていきたい。(事務局)
- ・ もう少し構想を練ってから会議を開くべきだと思う。もう少し具体的な案が出ないと議論が進まない。(オブザーバー)
 - 役場で再度案を煮詰めてから、創生会議に提示すべきということか。(事務局)
- ・ 生涯学習センターと同様な機能を持つ場合、既存の施設はどうするのか。子供たちも含め、利用する人に使いやすいものをお聞きし、改めて拠点の機能等を考えるべきではないか。(オブザーバー)
- ・ 町の人口が減っているが、建物ばかり作るのはどうかと思う。拠点のスタートは風呂のはずだった。(委員)
- ・ 案は、想定できる場所で機能を含めて皆さんがイメージしやすいよう・議論が進むように検討したもの。素案では立地は役場付近と記載されていたが、役場周辺の土地の状況を考えると6案しかない。案1は車庫があり撤去が必要。案2は何とかなる。案3は職員住宅の撤去。案4は狭い。案5は役場との接続ができない。案6は拠点の工事中に駐車場が使えなくなる。

使える土地の中から、負担が少ないことや、維持管理のことも考えなくてはいけない。コンビニの有無についての話もあるが、まずは箇所を考えなくては次の検討が出来ない。参考として提示した内容を批判したり、鵜呑みにせずに検討いただきたい。拠点の構想をつくるのは私たち。ぜひ建設的な意見を求めたい。(委員長)
- ・ おおよその面積や予算額を提示してもらわないと、話は詰められない。(委員)
- ・ 今の段階で金額・面積は無理だと思う。イメージで検討している段階。(オブザーバー)
- ・ 土地の買収もあるのか。(オブザーバー)
 - 1～6案全て町有地のため、土地の買収はない。参考までに過去の整備についての予算額、面積をお伝えする。幌延の生涯学習センター（H22建設）は1020㎡で約4億円、問寒別

の生涯学習センター（H27建設）は774㎡で約6億2千万円となっている。（事務局）

- ・ 物価が上がっているため、同じ規模の整備でも費用は高くなる。（オブザーバー）
- ・ 町の規模にあった機能・施設を詰めていけば、土地の場所・金額も決まるのではないかと。例えば調理実習室など保健センターにあるものを、新たに設ける必要はないのではないかと。既存の施設の機能と重複しないように検討すべき。（委員）
- ・ 何か資料がないと話が進まない。過去のアンケートや会議のデータを参考に積み上げた土台がないと話が進まないため、案は必要だと思う。町の規模にあったものから決めたらどうか。（委員）
- ・ 事務局から提示された案の機能で、的外れなものは入っていないと思う。風呂、防災、子供の遊び場に必要機能は揃っている。みなさんが不要と思う機能があれば、面積は減る。施設の機能の「いる」「いない」を検討する資料として使える。（委員長）
- ・ 役場に入っている保健福祉課が手狭なので、拠点の中に入るように検討しているのか。（オブザーバー）
- ・ 拠点整備は当初、観光的要素から始まった。せっかく整備するのなら、町民のための施設にしようということで、風呂の改修と併せて話が進み、高齢者が町中に集まる居場所づくりの施設にもしたいという発想。高齢者がいるなら、保健福祉の機能もあつたらいいねという議論で構想に入っている。構想とは別に、高齢者ひとり暮らしの整備は拠点の周辺にできたらいいねとの話もある。役場内の議論で機能を検討した。小さい子供を持つお母さん方から、冬場室内で遊ばせる場所がないとの意見もあるため、拠点に取り込んで構想をたたき台として作っている。必要の必要・不要等の前向きな議論をお願いしたい。（岩川副町長）
- ・ 事業費はいくらぐらいまでという限度はあるのか。結構な金額になるのではないかと。立地場所によっては、撤去や移動の費用も出てくる。（委員）
 - 予算も現状は見えていない。どんなものになるか決まらないため、金額も見えないところもある。（事務局）
- ・ 役場として、今日の会議で場所を決めたいのか。場所が決まらなないと機能も決まらない。（委員）
 - 前回叩かれ台として素案という形でたくさんの機能を示したが、決めにくい状況だった。必要な機能と面積を検討するために、今回は図面として叩かれ台を作成した。場所は事業費や諸事情で、決まる部分もある。機能と大きさを伺えればと思う。事業費によっては、すべての希望を取り入れることができない可能性もある。（事務局）
- ・ 既存のコインランドリーやコンビニの広さの想像ができないので広さについては想像しにくい。（委員）
 - コンビニについてはインターネットで調べた一般的な店舗の広さを参考にしている。幌延にあるセイコーマートもおそらく同じような大きさだと思う。それ以外の広さについては、役場の中の会議室等の面積を参考として記載している。（事務局）
- ・ 役場の敷地内に設置する理由は。（委員）
 - これまでの議論では町外・町内の整備の可能性について検討した。その中で、町民利便性向上に資する施設として町中の中心部があつた方がよいとの意見があり、役場周辺の町有地で検討した。（事務局）
- ・ 1～4案は役場と繋がっている。管理のことを考えると良い。バスの往来や広い駐車スペースを考えると、3案や4案になるのではないかと。（委員）

- ・ バスの待合はどこのバス停を想定しているか。(委員)
 - 沿岸バスや町のバスを集めるのがいいのではないか。沿岸バスについては、バス停変更は問題ないとのことであった。バス停変更により沿岸バスで走行距離が増えると、町の負担が増える可能性はある。(事務局)
- ・ 案3か4が良いではないか。案1は車庫の撤去が必要。案2は日当たりが悪い。(委員)
- ・ 案5もどうか。(委員)
- ・ 駐車場から道路を渡って建物にアクセスするのは、年寄りには危ない。(委員)
- ・ 職員住宅は老朽化で壊す計画があるのか。壊すのもお金がかかる。何もないところに建てる方が良いと思う。(委員)
- ・ 案3については、双葉町内会館のエリアになるか。(オブザーバー)
 - 特に町内会館に関わる部分はない。(事務局)
- ・ 建設場所を決めないと進まないのではないか。(オブザーバー)
- ・ 場所が決まらなないと何も決まらない。建設に向けて撤去や移動に関わるのは、案1と案3。案2と案5が、撤去などの費用は関わらず建設が可能。どちらかで決めたらどうか。(委員長)
- ・ 案2の場合、駐車スペースがかなり狭い。(委員)
- ・ どの案でも、お風呂やコンビニなどの利用者を考えると駐車スペースは必要。(委員)
- ・ 案5に役場職員用駐車場を作って、今の役場駐車場を拠点の駐車場にしたらどうか。案5を駐車場にしたらある程度、駐車スペースを確保できるのではないか。(委員)
- ・ 役場職員の駐車場の移動は可能なのか。(委員)
 - できないことはない。(事務局)
- ・ 案5の場合、役場職員駐車場と生涯学習センターの駐車場も使える。(オブザーバー)
- ・ 役場職員駐車場は満車に近い。(委員)
- ・ 高齢者は道路を渡らないようにした方がいいのではないか。(委員)
- ・ 誰にも迷惑をかけない立地ということであれば、案2となる。案5に職員駐車場をつくり、移動。今の職員の駐車場を拠点用にしたらどうか。住宅の取り壊し等より、駐車場整備の方が安いと思う。(委員長)
- ・ 案2の場合は、道路幅が狭く、バスが入りにくいのではないか。(委員)
- ・ 案4が良いのではないか。(委員)
- ・ 案4は敷地が狭いが、コンパクトにすれば良いのではないか。(委員)
- ・ 冬の除雪も考えると、除雪スペースも含め広く駐車場を取った方が良い。駐車台数の倍ぐらい必要。(委員)
- ・ 案5を北側にずらして、駐車場を確保したらどうか。土地の問題は解決できる。高齢者の使用を考えると、施設が長細い場合、歩く距離が長くなる。施設は四角い形の方が集約できる。また周辺がごちゃごちゃしていない方が好印象。キャンプ場利用客等、外からの来訪者のことを考えると、役場に接続した施設はピンとこないと思う。不特定多数が利用する施設としては、単体の方が使いやすい。また、防災上のリスク分散の観点からも役場と離して建設することも考えられる。(オブザーバー)
 - 細長さの補足として、案1ではコンビニをゼロとするとお風呂まで、約70mと長い廊下になる。図面には寸法も入っているので、参考にして欲しい。(事務局)

- ・ 町中であれば、役場を中心として周辺の方が良い。(オブザーバー)
- ・ 次回までに、どこが一番の妙案か各自検討頂きたい。場所を決めないと何度集まっても進まない。(委員長)

(3) 今後の予定について

～事務局から今後の予定について説明。

- ・ 数か月前に令和10年開館予定として提示したが、各種整理や各種団体との懇談も必要と考え、令和11年開館として提案したい。機能と立地等について率直な話し合いをして、まとめていきたい。また、管理運営する団体も整理した上で、構想を立てたい。(事務局)

3. その他

- ・ 交通拠点として、JRの記載があるが何か考えがあるか。役場周辺であれば、駅から離れている。(委員)
→ 拠点からJR駅までのアクセスを考えたいという意図。JRの記載は、今後、相談させて頂きたい。
- ・ 建物の機能について取捨選択のタイミングがあると思う。主観的に決めるとグルグル議論が回ると思う。数値化されたものがあれば取捨選択しやすい。(委員)
→ どのような数値化ができるか分からないが、検討したい。(事務局)
- ・ 議事録は事務局で作成の上、郵送で確認頂く。名前を伏せた議事概要については、HPや広報誌、議員にも報告を予定している。(事務局)

4. 閉会

<会議の様子>

